



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行「町コン」五十嵐 勉 2019年02月18日 第907号「週刊五十嵐レポート」

日本の生産性の低さは・・・

デービット・アトキンソンの著書「日本人の勝算」(東洋経済新報社)より。

日本で人口減少と高齢化が進んでいる。学校、美容室、食料品、車、住宅など人間の数に依存するモノとサービスの需要が減る。企業の生き残り競争によるデフレ圧力が増す。今までの日本では、「いいものをより安く」という経営戦略が良いとされた。常に効率を求め、コスト削減に邁進、特に人件費を下げる。人口が増加している時代には非常に良い戦略。

これからは「高次元資本主義」「高付加価値・高所得資本主義」。いかに安く作るかよりも、作るものの品質や価格を相対的に重視する戦略をとる。他の商品にはない差別化要素や機能面の優位性、どこまで効率よく付加価値を創出できるかを追及することが経営の基本になる。

「日本経済の底力は中小企業であり、これこそが日本の資本主義の特徴」という神話の崩壊。マッキンゼーのレポートでは、生産性向上の足かせは経済の大半を占める中小企業の経営者の質が低いことが問題だと指摘。

社長たちは、経団連に顔を出し、ロータリーに出たり、ライオンズに出たり、業界団体に行ったり、さまざまな勉強会に行ったり、勉強したつもりかもしれないが、会社に戻って、何かを変えなければ、生産性は上がらない。

経営者教育が不可欠。学ぶべきは、技術革新の知識とそれを使うためのメンタルスキル。自社の課題にも応用可能な問題解決方法やビジネスモデルの分析。「その程度は自分でもできる」と社長たちは言う。しかし日本の生産性の低さが、日本に数多くある零細企業や中小企業の経営者の経営能力の低さを雄弁に物語っている。

確かに同業の上場企業の方が1人当たりの経常利益(社員の給料も)は高い。(中には中小企業が同業の上場企業の3倍以上もあるが)データを見れば一目瞭然。悔しいけれど、受け入れる。誰も中小企業の経営者に苦言を言う人は少ない。著者は言う「最低賃金を上げないと経営者のレベルは上がらない」。逆も真なり。そうすることで付加価値を高める思考になる。

ちょっと
気になる出来事

私の知人で10年程前、地方都市の中古の区分所有マンションを総額で1億円ほど購入した。本人は東京の区分所有マンションに事務所を構えている。リーマンショック直後であり、地方都市の中古マンションは1戸当たりが1百万円～3百万円。表面利回りは20%以上。資金は当然のことながら自己資金。(無借金経営)

ここ数年、マンション投資ブーム。しかしほとんど東京都心を中心。地方物件は皆無。知人はあえて東京都心は狙わず、地方都市を重点投資。限りなく無競争の環境下。東京ではマンションの管理組合の理事をやって、マンションの資産価値向上のノウハウを身につけた。

彼曰く、「地方の不動産屋は遅れている」。部屋が空いたら、不動産業者は「家賃を下げましょう。そうしないと入りませんよ」という。彼は、女子大生に入ってもらいたいため、壁紙を張替え、イケアで家具、無印で雑貨を買って、部屋をリノベーション。すると相場の家賃の2割増でお客が付いた。地方の不動産屋は価値を高める努力をせず、価値を下げることしかしない。東京に比べて遅れていると。

これもランチェスター経営を学んだおかげだと彼は言う。



一口メモ
知識

幸福は安全な生き方

何事もうまくいって幸福な人は、他人に危害を与えたり、迷惑をかけたりしません。そういう人は、喜びを感じながら、いいことをします。

だから、まわりからいい反応が返ってきます。すると、さらにいいことをしたくなります。

このように、充実感のある人は、まわりにも幸福の影響を与えて、安全に生きられるのです。

喜びと充実感を感じることで、社会の安全につながるのです。「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
 - 「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時
 - 「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。
- 榎五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
Tel.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

